【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年1月25日(2024.1.25)

【公開番号】特開2023-99092(P2023-99092A)
【公開日】令和5年7月11日(2023.7.11)
【年通号数】公開公報(特許)2023-129
【出願番号】特願2023-73005(P2023-73005)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　5/078(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ35/18(2015.01)
Ａ６１Ｐ35/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ29/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ37/02(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ35/02(2006.01)
Ｃ１２Ｎ15/113(2010.01)
Ｃ１２Ｎ15/09(2006.01)
Ｃ１２Ｎ15/87(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/16(2006.01)
Ｃ１２Ｎ15/63(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　5/078　　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ　5/10
Ａ６１Ｋ35/18
Ａ６１Ｐ35/00
Ａ６１Ｐ29/00
Ａ６１Ｐ37/02
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｐ　1/00
Ａ６１Ｐ35/02
Ｃ１２Ｎ15/113　　Ｚ
Ｃ１２Ｎ15/09　１１０
Ｃ１２Ｎ15/87　　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　9/16　　Ｚ
Ｃ１２Ｎ15/63　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月15日(2024.1.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
標的細胞に外因性カーゴを送達するための医薬組成物であって、赤血球に由来し、外因性カーゴを含有する、細胞外小胞を含む、医薬組成物。

【請求項２】
カーゴが、核酸、ペプチド、タンパク質又は小分子である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
カーゴが、アンチセンスオリゴヌクレオチド、メッセンジャーＲＮＡ、長鎖ＲＮＡ、ｓｉＲＮＡ、ｍｉＲＮＡ、ｇＲＮＡ又はプラスミドからなる群から選択される核酸である、請求項１又は請求項２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
核酸が、１つ又は複数の修飾、天然には生じないエレメント又は天然には生じない核酸を含む、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】
１つ又は複数の修飾、天然には生じないエレメント又は天然には生じない核酸が、２’－Ｏ－メチル類似体、３’ホスホロチオエートヌクレオチド間連結又は他のロックド核酸（ＬＮＡ）、ＡＲＣＡキャップ、化学修飾ヌクレオチド、及びキャッピング等の３’若しくは５’修飾から選択される、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項６】
天然には生じないヌクレオチドが、２’位の糖修飾、２’－Ｏ－メチル化、２’－フルオロ修飾、２’NH_2修飾、５位のピリミジン修飾、８位のプリン修飾、環外アミンにおける修飾、４－チオウリジンの置換、５－ブロモの置換、５－ヨード－ウラシル、及び骨格修飾から選択される、請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項７】
カーゴが、ＣＲＩＳＰＲ／Ｃａｓ９遺伝子編集システムの１つ又は複数の成分を含む、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項８】
カーゴが、ヌクレアーゼ、又はヌクレアーゼをコードするｍＲＮＡ若しくはプラスミドである、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項９】
カーゴが、ｇＲＮＡを含む、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
標的細胞が、肝臓、骨髄、肺、脾臓、脳、膵臓、胃又は腸にある、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
処置の方法での使用のための、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
処置の方法が、医薬組成物の、遺伝的障害、炎症性疾患、がん、自己免疫障害、心血管疾患又は胃腸疾患を有する対象への投与を含む、請求項１１に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
対象ががんを有し、がんが任意選択で白血病、リンパ腫、骨髄腫、乳がん、肺がん、肝臓がん、結腸直腸がん、上咽頭がん、腎臓がん又は神経膠腫から選択される、請求項１１または１２に記載の医薬組成物。